

要 旨

試験委託者

環境省

表 題

1-ヘプタノールのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

A 0 0 0 4 7 2 - 4 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 1-ヘプタノール
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換)，水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間： 96時間
- 5) 試験濃度 (設定値)： 対照区，助剤対照区，5.00，8.90，16.0，28.0，50.0 mg/L
公比：約1.8
最高助剤濃度：100 mg/L (HCO-40使用)
- 6) 試験液量： 5.0 L/容器
- 7) 連数： 1 容器/試験区
- 8) 供試生物数： 10尾/試験区
- 9) 試験温度： 24±1 °C
- 10) 照明： 室内光，16時間明/8時間暗
- 11) 分析法： ガスクロマトグラフィー (GC)

結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度：試験液の分析の結果，測定値の設定値に対する割合がすべて±20%以内であったため，結果の算出には設定値を用いた。
- 2) 96時間の半数致死濃度 (LC50)：17.6 mg/L (95%信頼区間：12.2 mg/L~25.9 mg/L)